

試験結果報告書

栃木市長 琴寄 昌男 様

計量証明事業所 栃木県登録第49991号

株式会社 環境ラボ

〒327-0509

栃木県佐野市宮下町7-10

TEL. 0283-84-1131

試験責任者 齋藤 光弘

ご依頼を受けました試料について、試験結果を次の通り報告致します。

- 1 件名 : とちぎ包括26 スラグ物性試験業務
2 試料名 : スラグ
3 採取場所 : とちぎクリーンプラザ
4 採取日 : 2026年5月29日
5 試験項目及び試験方法
1) 表乾密度、絶乾密度
及び吸水率 : JIS A 1109:2020
2) 粒度(FM2.5) : JIS A 1102:2014

6 試験結果

- 1) 表乾密度、
絶乾密度、
吸水率

試験項目	試験結果	基準値	単位
表乾密度 (d _s)	2.80	2.45 以上	g/cm ³
絶乾密度 (d _p)	2.78	—	g/cm ³
吸水率 (Q)	0.87	3.0 以下	%

- 2) 粒度
(FM2.5)

ふるいの公称目開き	試験結果		基準値	単位
	各ふるいにとどまる 試料の質量分率	各ふるいを通過する 試料の質量分率		
4.75mm (5mm)	0	100	100	%
2.36mm (2.5mm)	1	99	85~100	
75 μ m (0.075mm)	97	3	0~10	
0.075mm以下	100	0	—	

7 備考

詳細は別添の記録表をご参照ください。

採取者：エクシオグループ株式会社

試料受領日：2026年6月3日

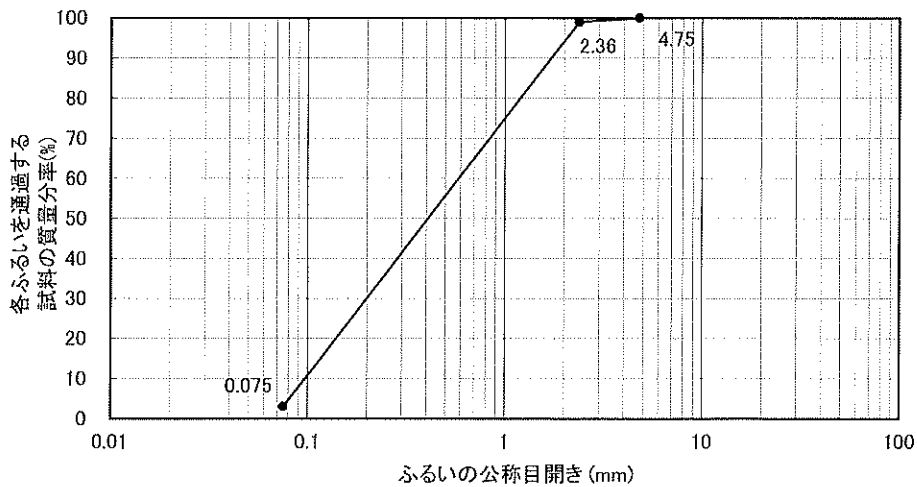
JIS A 1109		細骨材の密度及び吸水率試験方法			
件名	とちぎ包括26 スラグ物性試験業務	骨材の種類・産地	—		
試料名	スラグ	最大寸法(mm)・外観	—		
採取場所	とちぎクリーンプラザ	試験日	2026年6月9日		
採取日	2026年5月29日	試験者	塩川 正幸		
試験室の状態	室温	湿度	—	—	
	24 °C	72 %			
試験結果					
試験番号			1	2	合否
m1	(ピクノメータ+水)の質量	g	1194.6	1166.4	—
m2	密度試験用試料の表乾質量	g	500.0	500.0	—
—	試験に使用した水の温度	°C	20.0	20.0	—
ρ_w	試験に使用した水の密度	g/cm ³	0.9982	0.9982	—
m3	(ピクノメータ+水+試料)の質量	g	1515.7	1487.9	—
d_s	表乾密度 $\frac{m_2}{m_1 + m_2 - m_3} \times \rho_w$	g/cm ³	2.79	2.80	—
			平均		
			2.80		
—	表乾密度の平均値からの差	g/cm ³	0.01	0.00	—
m4	吸水率測定用試料の表乾質量	g	500.0	500.0	—
m5	吸水率測定用試料の絶乾質量	g	495.7	495.7	—
Q	吸水率 $\frac{m_4 - m_5}{m_5} \times 100$	%	0.87	0.87	—
			平均		
			0.87		
—	吸水率の平均値からの差	%	0.00	0.00	—
d_b	絶乾密度 $d_s \times \frac{m_5}{m_4}$	g/cm ³	2.77	2.78	—
			平均		
			2.78		
—	絶乾密度の平均値からの差	g/cm ³	0.01	0.00	—
【備考】					
平均値からの差が、密度の場合は0.01g/cm ³ 以下、吸水率の場合は0.05%以下でなければならない。					

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験方法 (FM2. 5)			
件名	とちぎ包括26 スラグ物性試験業務	骨材の種類・産地	—	
試料名	スラグ	最大寸法(mm)・外観	—	
採取場所	とちぎクリーンプラザ	試験日	2026年6月16日	
採取日	2026年5月29日	試験者	小峯 佳隆	
試験室の状態	室温	湿度	—	—
	25 °C	50 %		
ふるい分け前の 試料の質量	642.9	g	ふるい分け方法	機械

試験結果

ふるいの公称目開き	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 g	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 %	各ふるいにとどまる試料の質量分率 %	各ふるいを通過する試料の質量分率 %
4.75mm (5mm)	0.0	0	0	100
2.36mm (2.5mm)	7.8	1	1	99
75 μm (0.075mm)	614.8	96	97	3
75 μm (0.075mm) 以下 以下余白	20.1	3 *1	100	0
合計	642.7	100	—	—
粗粒率	—	—	—	—

【粒度加積曲線図】



【備考】

*1 : 0.075mm通過分の値は、JIS A 5032に従い微粒分量試験の結果を用いました。